

令和2年5月15日

文部科学省初等中等教育局

児童生徒課長

殿

厚生労働省人材開発統括官付

若年者・キャリア形成支援担当参事官 殿

全国高等学校長協会就職対策委員長

(大森学園高等学校長)

畑澤 正一

高校生の就職活動時期等についての意見書

現在、政府の新型コロナウイルス感染拡大防止のため、全国の多くの高校では休業が続いています。高校の最上級生にとっては、就職活動の時期が近づいていますが、学校の教育活動が再開されない中で、果たして就職活動ができるのかどうか、多くの高校生が不安を抱えています。

全国高等学校長協会では、これまで、生徒の適性と能力のみに基づく公正な採用選考を実施できるよう、文部科学省、厚生労働省、経済団体とともに、就職活動時期の協議を行ってきました。期日を守ることは、公正な採用選考を行うために、欠かすことができない条件です。

今年度、学校の教育活動が再開された段階で、例年と同じ日程で就職活動を行うことは難しい状況があると考えます。このことについて、以下のとおり意見を述べます。

記

1 令和2年度の選考日程について

「高等学校就職問題検討会議で取り決めた日程を後ろ倒しにする必要がある。」

- ① 学校では、就職を希望する生徒に対して様々な指導を行い、生徒本人の希望を固めさせた上で企業に出願させている。学校が休業していた期間には十分な指導が行われておらず、指導期間を確保するためには、日程を後ろ倒しすることが必要である。
- ② 6月に再開できた場合には、選考開始日を10月中旬まで遅らせる。再開がさらに遅くなった場合でも、11月上旬までには選考開始とすべきである。その理由は、降雪期間となる地域が出てくることや、選考を落ちた生徒が再度、選考を受ける期間を確保するためである。

2 求人票の学校受付開始日について

「学校受付開始日が例年より遅くなっても、企業の採用計画が固まった時期に確実なものを送っていただきたい。」

- ① 採用内定が取り消しとなることや、選考が突然に中止となることなどは、高校生の気持ちを考えると、あってはならないことである。こうしたことが起こらないように、採用計画を十分に検討したうえで求人票を送っていただけるようにしていただきたい。
- ② 学校では、推薦者の校内での調整をしたり、書類を準備したりといった時間が必要である。求人票の学校受付日と出願開始日の間に一定の期間を確保していただきたい。

3 全国同一の日程にするかどうかについて

「採用選考の日程は、全国同一にすることが望ましい。」

- ① 隣接する都道府県と就職関係の日程が異なった場合には、遅い時期の日程となった地域の高

校生は不安になると考えられる。

- ② 地域によって採用選考の時期が異なる場合、企業は複数回の選考を行うことになり、採用事務が繁雑となることが考えられる。

4 その他配慮いただきたいこと

- ① 「健康診断の実施が遅れており、この点からも日程の後ろ倒しをお願いしたい。」

学校は、毎年度、6月30日までに健康診断を実施しなければならないことが、法令に定められている。しかし、今年度は臨時休業の関係で健康診断を実施できていない学校がほとんどである。全国高等学校統一用紙の調査書には、「身体状況」として身長、体重、視力、聴力、備考の欄があり、また、検査日を記入するようになっている。健康診断を実施できないと調査書を作成することができず、多くの学校が困っている。なお、検査項目によっては、検査機関に検体を送ってから結果が戻るまでに1か月近くかかることがある。こうした状況があり、健康診断の実施という点からも、就職関係の日程を後ろ倒しにしていきたい。

- ② 「会社見学は授業への影響を最小限に。」

会社見学は、従来は夏季休業日中などに行ってきた。今年度、採用選考のスケジュールを後ろ倒しすることや、学校の夏季休業日が短くなることが行われた場合、会社見学を授業日に行わなければならないことが起こることが考えられる。今年度の状況からやむを得ない事態であるが、授業への影響が最小限になるようにして実施できるようにしていきたい。

- ③ 「一人一社制の扱いは都道府県の原則で。」

一人一社制に関しては、都道府県ごとに対応を決めて対応してきている。この進め方は、今年度も踏襲すべきである。

- ④ 「民間事業者への指導を適切に行っていただきたい。」

求人票は、ハローワーク経由以外にも民間事業者経由でも学校に送られてくる。期日を守ることは公正な採用選考を行っていくために不可欠であることに鑑み、民間事業者にも適切に指導を行い、期日の厳守について徹底いただきたい。